

大根の生産（生育）出荷見通しについて
（平成20年11月4日時点）

出荷団体名：JA全農ちば

1. 生産（生育）状況について

(1) 生産状況

ア. 作付状況

840haで前年より10ha増えている。市原地区の増加分で他地区は概ね前年並み。

イ. 作付時期

作付けは9月蒔きで9月の天候不良の影響で生育遅れや歩留まりが悪く11月上旬の出荷時期に出荷量の停滞が見られる。資材費高騰により株間を狭めた密植栽培やトンネル作を遅らせ、露地作で2月出荷を乗り切る取り組みがある。

(2) 生育状況

ア. 天候の推移

8月上旬干ばつ、下旬からは降雨が続き9月中旬まで続いた。以降は好天に恵まれている。

イ. 生育状況

9月の局地的な集中豪雨で播種遅れが懸念されたが11月出荷に影響がある。9月蒔きは生育遅れが見られる。

2. 出荷見通し

(1) 出荷時期

10月10日からスタートしているが地区によっては前年より1週間早い地区もあり全体では2・3日早いスタートとなった。しかし出荷量の伸びは昨年と比べ緩やかで現時点でようやく前年並みとなった。

(2) 出荷量

当面～12月中旬期

ピークは11月下旬からの見込みだが出荷量は前年並みを見込む。

① 年末～年明け

年末から年明けも今後の天候次第だが潤沢出荷を見込み、昨年並みの出荷量見込み。

② 1月～2月

露地作とトンネル作の切り替え時期で本年は露地中心の出荷から2月は気温次第だが昨年を下回る出荷量見込み。

③ 3月以降

今後の天候次第だが作付けは前年並み。

3. 販売対策

例年同様、量販店を中心とした販促活動の充実。

販売対策は契約販売の取り組みと計画出荷の遵守・徹底。

4. その他

再生産価格維持のための消費宣伝。スーパー量販店バイヤーに対し再生産価格をアウンスし安売りの歯止めをかける等の取り組みが必要。